

第 37 回土木計画学研究発表会(春大会)：2008.6.6~7(北海道大学)
 企画論文部門，若手研究者論文部門 セッション討議内容の記録

| | |
|--|--|
| セッション名：実践的 ITS の研究・開発 | |
| 日付： 6月 7日 (土)曜日，セッション時間： 14:45 ~ 16:15 | |
| オーガナイザー・司会者名(所属)：清水 哲夫(東京大学) | |
| 討 議 内 容 | セッション全体：観測技術については一定の成果が出ているが，今後は情報の出し方についての深い議論が必要ではないか？ |
| | (250)浅野美帆(国土技術政策総合研究所)：特になし |
| | (251)浜岡秀勝(秋田大学)： 積雪寒冷地でも路面の滑りの状況は異なるといった地域性を考えなければならぬ． “ 未検知道路 ” と “ 検知したが滑らなかった道路 ” の区別を情報提供時にどのように考えるのか？ |
| | (252)鈴江宗大(徳島大学)： “ 危険走行車 ” への警告漏れと “ 安全走行車への偽警告 ” のバランスを考えるとときに，これらの重みをどのように考えるのか？ |
| | (253)周藤浩司(中電技術コンサルタント(株))： 実験シナリオの順番が原因となる不都合は生じていないか？ 情報が提供されない地点で悪影響がある可能性はあるか？ |
| | (254)尾松俊(東京大学)： システム稼働前には想像できなかったような問題点は抽出されなかったか？ |